

- 1) USE2019 特集号より ScholarOne Manuscript(S1M)を利用します。画面表記は全て英語となります。ただし、コメントは日本語で入力できます。
- 2) 著者による改訂期間は 21 日です。改訂期間を過ぎると自動で投稿取り下げ扱いとなります。改訂が 21 日で終わらない場合には、改訂期間内に JJAP 編集部へ提出期限の延長を申請してください。
- 3) USE2017 特集号までの英文添削は行われません。掲載可の後は、「IOPP による英文校閲→版組→著者校正→公開」という流れになります。IOPP による英文校閲は主に文法チェックであり、IOPP が修正を行います。著者に修正を求めることはありません。このため、投稿前にネーティブスピーカー等による英文添削を実施することをお勧めします。
- 4) 論文長さの制限が変更されます。

論文の種類	ワード制限	引用文献	図の数(※①)	概算頁数
Progress Review	制限なし	30 以上	制限なし	
Regular Papers	制限なし	30 以上	制限なし	4 以上※②
Brief Notes	2700	20 以上	3	3 or 4

※① 1 段幅の図。図を増やす場合は、1 図につき 300 ワードとしてワード数を減らす。

※② BN よりも短い論文は RP として認められない。

- 5) 特集号論文の掲載料(英文校閲含む)

Progress Review: 40,000 円/論文

Regular Papers: 40,000 円/論文

Brief Notes: 20,000 円/論文

掲載料等の請求元および支払先も IOPP となります(国内銀行への振り込み、カード可)

- 6) その他(USE2017 および USE2018 特集号からの変更点です)

① USE では講演論文(Proceedings)をオンライン公開しています。二重投稿と見なされないよう、以下の点を注意してください。

1. JJAP 特集号論文に投稿する際は、必ず USE 講演論文を引用し、Introduction 等で新しく追加された点についてコメントする。
2. JJAP 特集号に投稿する論文には、USE 講演論文と比べて新しい内容を追加する。

② 講演者が提出した講演論文の著作権は USE 運営委員会に帰属されます。USE 講演論文に記載の図・表は、著者本人が JJAP 特集号論文に転載する場合のみにおいて、USE に使用許諾は不要です。しかし、JJAP 特集号論文において講演論文の引用が必要です。自身の講演論文の図・表であっても、JJAP 特集号論文に使用する際は、必ず、講演論文を引用文献に加えてください。例えば、図のキャプションに引用文献番号を記載してください。